

## 京都市中央斎場残骨灰減容化等業務に関する質問及び回答

お寄せいただいた御質問のうち、プレゼンテーションにおける評価に関する質問、委託金額の積算方法に関する質問、最低制限価格を推察するための質問、応募に関連性がないと本市が判断した質問及び聖土槽の位置等に関する質問は回答の対象外とさせていただきます。

質問	回答
①令和6年度に集荷した残骨灰の埋葬骨(返還残骨)の重量を教えてください。	返還残骨は約3.7トンです。
②令和7年度に集荷した残骨灰の重量及び埋葬骨(返還残骨)の重量を教えてください。	集荷した残骨灰は約200トンです。返還残骨については現時点で未定です。
③令和7年度京都市中央斎場残骨灰減容化等業務において、精錬された有価物の重量を品目ごとに教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金: 10,581.32g</li> <li>・銀: 34,459.00g</li> <li>・プラチナ: 267.75g</li> <li>・パラジウム: 10,270.77g</li> </ul>
④仕様書2ページ目(2)態様の6行目に、「本市が指定する聖土槽(上記数量に記載の本 市が指定する聖土槽とは別の槽)に収蔵している」と記載されております、本市が指定する聖土槽とは別の槽というのは、どの槽の事ですか。	(1)数量に記載している「本市が指定する制度槽(2槽)」とは別に指定する槽を指します。その槽に、令和7年12月から令和8年3月分までの残骨灰を収蔵しています。